



第 468 号  
常盤小学校  
常盤幼稚園

先して設立に尽力したもので、やがて小學校を産出す前身であつた。私はそこへ第一番に入學したのですが、普通の住宅へ新調の長机を並べて、黒板を建て、教師は皆籐の鞭を持って教へる。私は先づ、てにをはを習ひ、數學の加減乗除を覚え、英語の十二ヶ月を知り、習字の楷書を習ひ始めた。】

開校150周年を迎えるにあたって

校長 永井勝巳

先月末の Tokiwa Sports Festival には、多くの保護者のご参観をいただき、盛大に行うことができました。ご多用のなか、誠にありがとうございました。子どもたちは限られた練習時間にもかかわらず、その成果を十分に発揮してくれました。ここで学んだことをこれからの学校生活にしっかりと生かしてほしいものです。

さて、今年度は本校・本園が開校百五十周年・開園百二十七周年という記念すべき節目の年度となります。来る十月二十九日(土)には、それを記念する式典を予定しております。しかし、当日のみ周年を祝うのではなく、常盤小学校の児童がこの四月から来年の三月末までを「周年」として意識して取り組んでいけるようにと考えております。

ここで、常盤小の歴史について一つ紹介いたします。これは昭和十一年七月に日本橋研究会が発行した季刊『日本橋 第四號』に掲載されていた 日本橋初期の小學校 星野天智氏が寄稿した文を現代文に要約したものです。【私が、十一歳の時(明治五年)でした。吾住宅より四丁先きの本町一丁目北側に幼童舎という學舎が出来た。之は私の父などが率

明治初期、日本の初等教育は手習いとして私的な塾で「読み、書き、そろばん」の指導が中心だった中で、本校の前身である幼童舎は、英語指導のためイギリス人教師や翻訳者を担当する職員を配置するなど、当時の関係者の教育に対する関心の高さが伺えます。児童には、常盤小学校・幼稚園の歴史と伝統をしっかりと振り返り、未来へ向けて益々発展する学校・幼稚園となることを互いに確認し合う周年にしたいと考えております。

校内に目を向けると児童も代表委員会が中心となって「行こう 進もう」ときわの伝統を未来へ」というスローガンを立てて、周年を盛り立てていこうとしています。それを支える大人たちも昨年十二月末に、日本橋一之部連合町会会長湧井恭行様や常盤学校校友会会長の橋本敬様を中心とした周年記念事業を支えていただく協賛会も発足しました。学校・みどり会・協賛会・校友会・地域等との更なる連携を目指した周年本校としまして、この心に残る周年を大きな目標として、教育活動の充実を目指して参りたいと考えております。

令和四年六月行事予定

1日(水)	衣替え 安全指導 教育相談日(都)
2日(木)	東京都学力向上を図るための調査(五年) B 時程(下校一年十四時)
3日(金)	一、六年 十四時五十分
6日(月)	たてわり班遊び 教育相談日(区)
7日(火)	全校朝会 ふれあい月間調査
8日(水)	SOS の出し方授業 学校評議委員会
9日(木)	センター教室(三年) クラブ活動
10日(金)	きものと礼儀作法体験実習(五年)
11日(土)	囲碁教室
13日(月)	五時間授業(下校十四時) 体力テスト
15日(水)	教育相談日(都)
16日(木)	八丈島小学校交流(六年)
17日(金)	セカンドスクール①(四年)
20日(月)	セカンドスクール②
21日(火)	セカンドスクール③ 教育相談日(区)
22日(水)	全校朝会 プール開き 水泳指導始
24日(金)	避難訓練 委員会活動 囲碁教室
27日(月)	東京都学力向上を図るための調査(四年)
28日(火)	教育相談日(都)
29日(水)	校外清掃(一・五年) 教育相談日(区)
30日(木)	全校朝会
	クラブ活動
	二年一組以外午前授業(下校十三時十五分)
	研究授業二年一組 教育相談日(都)
	定期健康診断終

